

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	東京都あきる野市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	あきる野市文化遺産活用プラン	【計画の改善時期】 平成 30 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
あきる野市総合基本計画後期基本計画（平成26年度策定 平成26年度から32年度まで）や、あきる野市教育基本計画（平成26年度策定 平成26年度から32年度まで）、あきる野市生涯学習推進計画あきる野学びプランⅢ（平成27年度策定 平成27年度から平成32年度まで）を基本とする。市民文化の振興や文化遺産の保存と次世代への継承・発展、また地域の活性化を推進するため、以下の取り組みを実施する。また、計画期間中には以下の取組を通じて、各地域の伝統文化を保存・継承し、活用するとともに、行政と文化財保護団体との連携・協力体制の確立を目指す。 ※あきる野市総合基本計画後期基本計画 (http://www.city.akiruno.tokyo.jp/cmsfiles/contents/0000005/5072/5_kakuron-5.pdf) ※あきる野市教育基本計画 (http://www.city.akiruno.tokyo.jp/cmsfiles/contents/0000002/2392/honpen.pdf) ※あきる野市生涯学習推進計画あきる野学びプランⅢ (http://www.city.akiruno.tokyo.jp/cmsfiles/contents/0000006/6262/4honpen.pdf)			
6 実施体制			
本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は、教育委員会教育部生涯学習推進課文化財係が行う。 また、補助事業については、あきる野市文化遺産活用実行委員会（構成団体：あきる野市郷土芸能連合会、秋川歌舞伎保存会、菅生歌舞伎菅生一座、菅生組立舞台保存会、軍道紙保存会）が実施する。			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 71,598 千円	平成30年度要望額： 8,831 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
本計画事業を実施することによって、多くの市民があきる野市の各地域に伝わる伝統芸能への関心を高め、保存意識の向上を図ることができる。そのことにより地域の文化遺産の保存・次世代への継承にもつながり、子供から大人までが伝統を守り、郷土愛をより一層高めることにより、伝統芸能を継承していく意識の向上が見込まれる。 当市では、各地域にお囃子、神楽、獅子舞、棒使い、農村歌舞伎などの伝統芸能を保存継承している団体が41ありこれらの団体が、様々なイベントや祭礼等で地域の活性化に貢献している。また、これらの団体が後継者育成のため小学校や中学校などで行われている伝統芸能部などのクラブ活動に貢献しており、幼少のころから地域の伝統芸能への理解を深めてもらえるものと、大きな期待を寄せている。 市内のイベントの来場者の想定人数を以下のように予測している。あきる野夏まつり（8月上旬）約5万人、ヨルイチ（8月下旬）約1万人を想定している。また、あきる野三大まつりの二宮神社秋季例大祭（9月8日、9日）約2万人、正一位岩走神社秋季例大祭（9月中旬）約1万5千人、阿伎留神社秋季例大祭（9月28日～30日）約2万人である。地域の祭礼などのイベントに貢献することにより、これらの数値的な目標に貢献できることが期待できる。平成23年に策定した、あきる野市観光推進プラン「あきる野ふるさとプラン」での平成32年時点での目標値は250万人となっており、その目標達成に向けての観光客の増加に寄与することが期待できる。また、観光客へのサービスのため、武蔵五日市駅前において週末に観光ボランティアが市内を案内して地域の活性化に貢献しており、あわせて地元をもっとPRしたいボランティアガイドの人たちにとっても大きな生きがいとなることが期待できる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	あきる野市教育委員会教育部生涯学習推進課（文化財係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 1：	地域の祭礼行事等への入込客数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 1：	あきる野夏まつりの入込客数の増加		関連事業：		
目標値 1：	【現状値】 平成 29 年度 35,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 39,000 人				
設定根拠 1：	平成29年度の入込客数は35,000人であった。年間1,000人ずつの増加と仮定し、平成33年度目標値を45,000人とする。				
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
35,000 人	人	人	人	人	人
0%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	秋川歌舞伎普及啓発事業	実施団体：	秋川歌舞伎保存会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	あきる野市民が集う「平成30年度あきる野市文化祭」に参加し、地域を代表するホールである秋川キララホールにて秋川歌舞伎を公開することにより、明治時代より100年以上継承され、東京都無形民俗文化財に指定されている秋川歌舞伎の普及及び啓発を図る。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	保存会への入会者数を増加させる					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 90 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 110 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業②：	留原囃子保存会用具の新調事業	実施団体：	留原囃子保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	経年劣化した衣装の新調					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	保存会への入会者数を増加させる。					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 3 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
12 人	人	人	人	人	人	
450%						
事業③：	小宮神社獅子舞・棒使い保存会保存会用具の修理事業	実施団体：	小宮神社獅子舞・棒使い保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	経年劣化した獅子頭の修理					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	保存会への入会者数を増加させる。					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 3 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 10 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業④：	伊奈新宿囃子保存会山車修理事業			実施団体：	伊奈新宿囃子保存会	
事業区分：	用具等整備			事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	保存会にて所有している山車の軒廻り、柱、虹梁廻り、屋根、床台等の塗装を行う。また、軒天井、花頭窓廻りの部分が老朽化により劣化しているため、修理する。 将来的には、保存会が所有している人形および台座を山車に乗せ、以前の姿を復元することを目的とする。					
評価指標区分：	・ 保存会会員数の変化（維持）				（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	保存会会員数を増加させる					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 47 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 62 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
48 人	人	人	人	人	人	
7%						